

ひろしま四極会大より



平成7年1月20日 四極会広島県支部総会 於 県民文化センター

懐かしい記念写真(平成7年1月20日撮影)

第20号

「人生はU字型」 志麻孝幸(天四十五)



最近なにかのコラムで、人生はU字型曲線であるという記事を読んだ。詳細は忘れたが、ヒトの幸せの感じ方は生まれてからすぐにも下降局面に入り、四十歳から五十歳代で底這いになり、それ以降はまた上昇に転じる緩いU字型になつてゐるというものである。因みに日本人の平均年齢は四十五歳とのことなので、多くの中堅日本人があまり幸せを感じないで生きているということになつてしまふ。と思つたが、今にして考えれば四、五十年代は働き盛り、仕事では組織の中心的役割を担い、上からも下からもつつかれて、家に帰ると出来の悪い子供の教育問題や妻との確執(多分に私的事由)など気を使うことが多く、幸せを味わつてゐる余裕などなかつた気がしてくる。

翻つて今年四月に定年を迎えるとしているが、上司が年下になると怒られることもなくなり、山の神のかまびすしい小言も笑顔で聞き流せるようになつてきたのはこのU字曲線のなせる業かと思うようになつてきた。弁解じみて、投げやりな気持ちではない。「酒飲めばいつか心も春めきて借

金取りも鶯の声」という川柳にどか共鳴し、U字がさらに上昇する年代に入つてきたかと思う今日この頃である。引き続きU字曲線を信奉し悲觀せずに現在を送りたい。

終わりに臨み東日本大震災で亡くなられた方のご冥福をお祈りいたします。かかる時分に駄文を呈することを容赦ください。

(事務局)なるほど、U字型といふ考え方つてあるんですね。確かに四十歳から五十歳の頃は中間管理職の立場で精神的に悩みが多い時期ですね。ある方が六十代はいいよ、素晴らしい人生を楽しめる年代だよと語ってくれました。団塊の世代の方、幸せな日々が続いているですか。

「大好きなサッカー」

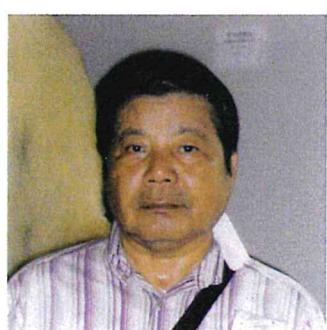
辰見日出夫(天十五)

三月十日、妻と西風新都の「西風梅苑」を訪れました。写真はその時のものです。近くの広域公園



にサンフレッチェの本拠地、エディオンスタジアムがあります。毎年、ホームでの試合は観戦しています。

話は変わりますが、由布院と湯布院の差、ご存知ですか。この由湯(湯)布院の自衛隊グランドで、合宿したことがあります。練習後、この風呂に入つたのですが、ブルーのような大きな風呂の湯の底に白いイングンチャクのようなものが生えていたのを思い出します。



ナのヒロシマがあります。言うまでもなく、被爆地広島を世界に訴える言葉であり、世界から認知されたヒロシマです。

今、北朝鮮の核開発や核保有国の確執で、世界は揺れています。一昨年のオバマ前米国大統領のヒ

ます。試合がはじまる監督なりきつて、アレコレ指図を出しています。今年のサンフレッチェは二十四年の開幕三連勝で首位です。上野ケ台・鴻岡寮で先輩に勧誘され、サッカー部に入部しました。当時は今ほどサッカーはメジャーなスポーツではありませんでした。狭いグランドで、野球部、ラグビー部、サッカー部が互いに飛球にひやひやしながら練習したものです。

「ヒロシマとカープ」

井尾義文

(教育学部昭和四十三年卒)

早いもので大分を離れ五十年、半世紀が経ちました。昭和四十三年(一九六八年)縁あって広島の新聞社に就職、六十歳の定年まで勤め、その後五年間、関連の施設で園長を務めました。

広島にはもう一つの顔、カタカナには身体が鈍ると思い、トレーニングがわりに大分く広島間を歩いて帰広したのもいい思い出です。最終日(七日目)大野の本家に立ち寄つたら、伯母に「どつちが表か裏かわからんねえ」と言われたのを覚えていました。今回はこの辺でよからうか。

ロシマ訪問や、昨年の平和団体へ贈られたノーベル平和賞は核廃絶を目指す多くの人々に希望と勇気を与えました。

被爆後の広島は草木も生えぬと

言われ、廃墟からのスタートでした。そうした中、市民に希望をもたらしたのがカープ球団の誕生でした。

しかしながら、人気も全国区になつたカープ球団ですが、発足当初は存亡の危機に見舞われる状況でした。最初のシーズンを最下位で終えた昭和二十五年の年末、資金難で身売りか解散かの瀬戸際に追い込まれました。

しかし、「すさんだ時代の唯一の楽で市民はたる募金まで始め、地元財界の協力もあって、解散の危機を乗り切りました。

お世辞にも立派とは言えなかつた旧市民球場から広島駅近くに生まれ変わった新球場は、対戦相手に関係なくいつも超満員。グッズ売り上げも好調です。

（平成30年）第20号
「無」からスタートした戦後のヒロシマでしたが、そこに市民球団と言われたカープが誕生、共に七十年近くを歩んできました。私は生まれ故郷大分を懐かしむ一方、広島を第二の故郷として愛着を感じる日々です。生まれも育ちも広島の子や孫が、ヒロシマを忘れず、カープが大好きになつてほしい。それが私達先輩の思いだと思います。

（事務局）今年もカープ絶好調！連日スタジアムも大入満員ですね。今年こそ日本一を勝ち取つてもらいましょう！

不思議な縁で、毎週広島から役所や得意先を訪問しても白髪や髪の薄い方がいらっしゃる中まさか私よりも年齢が多い方は居ないだろうなと思いながら、賞味期限が切れるまでは、お役に立てればと思っているこの頃です。

仕事の合間を縫つては、と言うよりも合間を作つて島根を愉しんでいます。松江では四極会の会報短歌欄で高商二十回の米田盛造大先輩の名前をお見かけしていました。老舗の酒蔵米田酒造の会長さんをなさつてお聞きしましたので、早速訪ね、受付の女性に案内を乞い、案内された応接間で恐る恐るお待ちしていますと明るい元気なお声でお見えになりました。

御年九十歳を超えておられるとは思えない顔の大先輩です。戦闘機乗りだった昔話や広島の大先輩の方々のお名前をお聞きしたり、お



坂井 進（天十八）

不思議な縁で、毎週広島から江で営業の仕事をしています。食事付きの駅前ホテルに二泊ほど泊

て頂きお土産に松江の銘酒豊の秋を頂戴しました。それからは厚かましくも折々お訪ねしては銘酒豊の秋を頂いて帰っています。



「だつこのおじちゃん」と呼ぶ声が

「新春懇談会」報告

茶所松江のお抹茶を奥様から点てて頂きました。それを頂戴しました。それからは厚かましくも折々お訪ねしては銘酒豊

を頂いています。

また手を振るようになりました。遠くから私の顔を見つけたら、走ってきます。何かの弾みで、抱き合いました。大喜びでした。それからと言うものは毎朝高い高いと言つて抱き上げてやります。大喜びします。園児を連れた母親は、まだ若い身空ですが洩れ聞くところ訳ありのようで、女手一つで育てています。園児は男っ気に飢えている感じがします。

ある日、その母親からとても子供が懐いています。せめてお名前をと言わましたが、このままにしあとましようと言つて名前は伏せておられます。今日は誕生日だつたそうで、園児から手紙を渡されました。園児がおじちゃんと思つておりました。園児がおじちゃんだつこのおじちゃんと呼んでいましたが、聞こえない振りをして、後ろを振り向かずそのまま歩いて行きました。天神川の川面にはだつこのおじちゃんと呼ぶ声がいました。もうこの辺で会わない方が良いかなと考えながら、川を泳ぐ白鳥を横目でみて、句作りに励んでいる今日この頃です。

潮風に吹かれ揺られて鳥帰る



（事務局）松江勤務も続いていますが、会費をしつかり徴収、ぬかりない。全員揃つたところで乾杯。会話がはずんだ頃、進行役の中山会費徵収係りが口を開いた。

この日の出席者（十三名）

（事務局）松江勤務も続いていますが、会費をしつかり徴収、ぬかりない。全員揃つたところで乾杯。会話がはずんだ頃、進行役の中山会費徵収係りが口を開いた。

A氏「えー、相変わらず忙しくしてます。身体にはあちこち

（事務局）松江勤務も続いていますが、会費をしつかり徴収、ぬかりない。全員揃つたところで乾杯。会話がはずんだ頃、進行役の中山会費徵収係りが口を開いた。

B氏「えー、相変わらず忙しくしてます。身体にはあちこち

（事務局）松江勤務も続いていますが、会費をしつかり徴収、ぬかりない。全員揃つたところで乾杯。会話がはずんだ頃、進行役の中山会費徵収係りが口を開いた。

C氏「今日はゴルフでした。スコアは内緒ですが、いい天気で氣分は最高でした」

（事務局）松江勤務も続いていますが、会費をしつかり徴収、ぬかりない。全員揃つたところで乾杯。会話がはずんだ頃、進行役の中山会費徵収係りが口を開いた。

D氏「大分に帰省しました。故郷はやはりいいですね。田舎

E氏「今日はゴルフでした。スコアは内緒ですが、いい天気で氣分は最高でした」

F氏「今日はゴルフでした。スコアは内緒ですが、いい天気で氣分は最高でした」

G氏「今日はゴルフでした。スコアは内緒ですが、いい天気で氣分は最高でした」

H氏「今日はゴルフでした。スコアは内緒ですが、いい天気で氣分は最高でした」

I氏「今日はゴルフでした。スコアは内緒ですが、いい天気で氣分は最高でした」

J氏「今日はゴルフでした。スコアは内緒ですが、いい天気で氣分は最高でした」

K氏「今日はゴルフでした。スコアは内緒ですが、いい天気で氣分は最高でした」

L氏「今日はゴルフでした。スコアは内緒ですが、いい天気で氣分は最高でした」

M氏「今日はゴルフでした。スコアは内緒ですが、いい天気で氣分は最高でした」

N氏「今日はゴルフでした。スコアは内緒ですが、いい天気で氣分は最高でした」

O氏「今日はゴルフでした。スコアは内緒ですが、いい天気で氣分は最高でした」

P氏「今日はゴルフでした。スコアは内緒ですが、いい天気で氣分は最高でした」

Q氏「今日はゴルフでした。スコアは内緒ですが、いい天気で氣分は最高でした」

R氏「今日はゴルフでした。スコアは内緒ですが、いい天気で氣分は最高でした」

S氏「今日はゴルフでした。スコアは内緒ですが、いい天気で氣分は最高でした」

T氏「今日はゴルフでした。スコアは内緒ですが、いい天気で氣分は最高でした」

U氏「今日はゴルフでした。スコアは内緒ですが、いい天気で氣分は最高でした」

V氏「今日はゴルフでした。スコアは内緒ですが、いい天気で氣分は最高でした」

W氏「今日はゴルフでした。スコアは内緒ですが、いい天気で氣分は最高でした」

X氏「今日はゴルフでした。スコアは内緒ですが、いい天気で氣分は最高でした」

Y氏「今日はゴルフでした。スコアは内緒ですが、いい天気で氣分は最高でした」

Z氏「今日はゴルフでした。スコアは内緒ですが、いい天気で氣分は最高でした」



近況コーナー

出欠のハガキに書いていた大いにコメントです。

百周年を盛り上げよう！

有永哲郎（大二〇）

四極会の運営について、幹事の諸兄のお世話で長続き出来ていまます。心から感謝申し上げます。四極会は不滅です。百周年を迎えるまでは四極会への出席、皆勤で務めます。昨年十二月に市役所主催の老人体力測定（七十五歳以上）を受けました。結果は「五十歳代」の判定でした。

百周年までの出席、皆勤の約束は果たせそうです。全員の協力で百周年を盛大に盛り上げましょう！

（事務局）体力が五十歳代とはすがいいですね。日頃の節制、食事内容など気を付けておられる成果でしょう。日野原重明氏も健康管理に気配りして百五歳で逝去しました。大学も百年、有永先輩も百歳まで頑張って生きてください。

「いちご会」に出席

品川敏樹（大十六）

昨年入学同期の会「いちご会」が大分で開催された。初日は夕刻から懇親会。懐かしい旧友との再会に杯を重ね昔話に花が咲き、翌日は有志で由布院へ。田村幹事の人脉で亀の井別荘の社長である中谷健太郎氏の邸宅に寄せてもらつた。森林の中に建てられた木造の家は作りが素晴らしい。

中谷氏は明大卒業後東宝撮影所に入り、稻垣浩などの下で映画の助監督をしていましたが、由布院の父の会社・亀の井別荘の後釜として

社長に就任。湯布院の町の活性化に大きな貢献をした人である。

我々が行つたのは月曜日だったが、全国から、そして海外からの旅行者がわんさか押しかけていた。

この賑わいを創出した中谷健太郎氏、すごい人だが同期のみんなにお茶を出して歓待してくれて愛用の蓄音機でSPレコードをかけてオペラ歌手の歌声を聴かせてくれた。いい旅だった。

（事務局）中谷健太郎氏のこと調べてみました。一九七五年四月の大分県中部地震により、実際には被害が小さかった由布院温泉が風評被害を受け、観光客が低迷するなど、ゆふいん音楽祭、湯布院映画祭、牛鳴い絶叫大会などのイベントを企画。地域にある文化や自然資源を育てることで、まちおこしを展開し由布院を活性化させた男と紹介されました。

（事務局）ご多忙の折にご出席をいただき有難うございました。尾席できると思います。

（事務局）これまで山田先輩は総会などで出席いただき広島支部を支えていただきました。特にハモニカの伴奏で会を盛り上げていただきましたことに感謝申し上げました。

（事務局）ご多忙の折にご出席をいたしました。尾熊さんのお周囲に大学卒業生がいるとのことは是非お掛けください。

（事務局）お世話役有難うございます。

（事務局）お世話役有難うございました。

（事務局）いつもご案内有難うございます。

（事務局）ありや、いけんですね。サラリーマン川柳で面白いのがありました。現役だったら素直に笑えませんよね。

（事務局）支障無し、インフルで、会社を休むも、支障無し。

（事務局）百歳を目指して！

（事務局）山田基石（経專二十五）

（事務局）当月は一月定期会議中ですが、出席できると思います。

（事務局）（工学S五十五）

（事務局）（工学S五十六）

（事務局）（工学S五十七）

（事務局）（工学S五十八）

（事務局）（工学S五十九）

（事務局）（工学S六十）

（事務局）（工学S六十一）

（事務局）（工学S六十二）

（事務局）（工学S六十三）

（事務局）（工学S六十四）

（事務局）（工学S六十五）

（事務局）（工学S六十六）

（事務局）（工学S六十七）

（事務局）（工学S六十八）

（事務局）（工学S六十九）

（事務局）（工学S七十）

（事務局）（工学S七十一）

（事務局）（工学S七十二）

（事務局）（工学S七十三）

（事務局）（工学S七十四）

（事務局）（工学S七十五）

（事務局）（工学S七十六）

（事務局）（工学S七十七）

（事務局）（工学S七十八）

（事務局）（工学S七十九）

（事務局）（工学S八十）

（事務局）（工学S八十一）

（事務局）（工学S八十二）

（事務局）（工学S八十三）

（事務局）（工学S八十四）

（事務局）（工学S八十五）

（事務局）（工学S八十六）

（事務局）（工学S八十七）

（事務局）（工学S八十八）

（事務局）（工学S八十九）

（事務局）百歳を目指して！

（事務局）山田基石（経專二十五）

（事務局）当月は一月定期会議中ですが、出席できると思います。

（事務局）（工学S五十五）

（事務局）（工学S五十六）

（事務局）（工学S五十七）

（事務局）（工学S五十八）

（事務局）（工学S五十九）

（事務局）（工学S六十）

（事務局）（工学S六十一）

（事務局）（工学S六十二）

（事務局）（工学S六十三）

（事務局）（工学S六十四）

（事務局）（工学S六十五）

（事務局）（工学S六十六）

（事務局）（工学S六十七）

（事務局）（工学S六十八）

（事務局）（工学S六十九）

（事務局）（工学S七十）

（事務局）（工学S七十一）

（事務局）（工学S七十二）

（事務局）（工学S七十三）

（事務局）（工学S七十四）

（事務局）（工学S七十五）

（事務局）（工学S七十六）

（事務局）（工学S七十七）

（事務局）（工学S七十八）

（事務局）（工学S七十九）

（事務局）（工学S八十）

（事務局）（工学S八十一）

（事務局）（工学S八十二）

（事務局）（工学S八十三）

（事務局）（工学S八十四）

（事務局）（工学S八十五）

（事務局）（工学S八十六）

（事務局）（工学S八十七）

（事務局）（工学S八十八）

（事務局）（工学S八十九）

（事務局）（工学S九十）

（事務局）（工学S九十一）

（事務局）（工学S九十二）

（事務局）（工学S九十三）

（事務局）（工学S九十四）

（事務局）（工学S九十五）

（事務局）（工学S九十六）

（事務局）（工学S九十七）

（事務局）（工学S九十八）

（事務局）（工学S九十九）

（事務局）（工学S一百）

（事務局）（工学S一百一）

（事務局）（工学S一百二）

（事務局）（工学S一百三）

（事務局）（工学S一百四）

（事務局）（工学S一百五）

（事務局）（工学S一百六）

（事務局）（工学S一百七）

（事務局）（工学S一百八）

（事務局）（工学S一百九）

（事務局）（工学S一百十）

（事務局）（工学S一百十一）

（事務局）（工学S一百十二）

（事務局）（工学S一百十三）

（事務局）（工学S一百十四）

（事務局）（工学S一百十五）

（事務局）（工学S一百六）

（事務局）（工学S一百七）

（事務局）（工学S一百八）

（事務局）（工学S一百九）

（事務局）（工学S一百十）

（事務局）（工学S一百十一）

（事務局）（工学S一百十二）

（事務局）（工学S一百十三）

（事務局）（工学S一百十四）

（事務局）（工学S一百十五）

（事務局）（工学S一百十六）

（事務局）（工学S一百十七）

（事務局）（工学S一百十八）

（事務局）（工学S一百十九）

（事務局）（工学S一百二十）

（事務局）（工学S一百二十一）

（事務局）（工学S一百二十二）

（事務局）（工学S一百二十三）

（事務局）（工学S一百二十四）

（事務局）（工学S一百二十五）

活動、特に町内会のお世話を避け通れません。コミュニケーションを円滑にするために必要なこと。そちらを優先することは当然のことです。

（事務局）（工学S一百二十六）

（事務局）（工学S一百二十七）

（事務局）（工学S一百二十八）

（事務局）（工学S一百二十九）

（事務局）（工学S一百三十）

（事務局）（工学S一百三十一）

（事務局）（工学S一百三十二）

（事務局）（工学S一百三十三）

（事務局）（工学S一百三十四）

（事務局）（工学S一百三十五）

（事務局）（工学S一百三十六）

（事務局）（工学S一百三十七）

（事務局）（工学S一百三十八）

（事務局）（工学S一百三十九）

（事務局）（工学S一百四十）

（事務局）（工学S一百四十一）

（事務局）（工学S一百四十二）

（事務局）（工学S一百四十三）

（事務局）（工学S一百四十四）

（事務局）（工学S一百四十五）

（事務局）（工学S一百四十六）

（事務局）（工学S一百四十七）

（事務局）（工学S一百四十八）

（事務局）（工学S一百四十九）

（事務局）（工学S一百五十）

（事務局）（工学S一百五十一）

（事務局）（工学S一百五十二）

（事務局）（工学S一百五十三）

（事務局）（工学S一百五十四）

（事務局）（工学S一百五十五）

（事務局）（工学S一百五十六）

（事務局）（工学S一百五十七）

（事務局）（工学S一百五十八）

（事務局）（工学S一百五十九）

（事務局）（工学S一百六十）

（事務局）（工学S一百六十一）

（事務局）（工学S一百六十二）

（事務局）（工学S一百六十三）

（事務局）（工学S一百六十四）

（事務局）（工学S一百六十五）

（事務局）（工学S一百六十六）

（事務局）（工学S一百六十七）

（事務局）（工学S一百六十八）

（事務局）（工学S一百六十九）

（事務局）（工学S一百七十）

（事務局）（工学S一百七十一）



「ひろしま四極会たより」

発行 会報発行委員会

編集長 坂井進

編集人 品川敏樹

事務局 四極会広島支部

担当 中山晴喜連絡先

〇七〇一三七八一三三七六

年二回発行（三月・十月）